

「こより」を作って、 和紙の冊子を綴じよう



「こより」とは？

細く切った紙によりをかけて紐状にしたもの（広辞苑より）。
暮らしの中の必要な実用品で、
少し前なら日本人のほとんどが出来た
小さな手仕事でした。

暮らしの中の「こより」の文化を
ひもときながら、まずはピンと立った
美しい「こより」作りに挑戦！
その後、「こより」で綴じた小さな
和紙の帳面を作ります。その他に江戸の
本のお話、実物に触れることもできます。



日時：**6月14日（土）14:00～16:00**

会場：湯島総合センター3階（開場 13:45）
文京福祉センター湯島 洋室

講師：下中 菜穂（造形作家、伝承切り紙、歳時伝承研究）

定員：16名（中学生以上/申込順）

受付：**5月31日（土）13:00～**

カウンター・電話・図書館ホームページ

湯島図書館 ☎ 03-3814-9242

※お預かりした個人情報は、当イベントに関するもののみに使用します。
また、保有の必要なくなった個人情報は適正に廃棄します。